

砂鉄ずっしり 輝く笑顔 大原小、製鉄体験へ採取

一関

一関・大原小(佐藤啓校長、児童97人)

の6年生24人は25日、一関市大東町内野地区の砂鉄川で、たたら製鉄体験の材料となる砂鉄を採った。

たたら製鉄の継承に取り組むホッパの会(勝部昌平会長)の会員8人が指導し、磁石で川底の砂鉄を採取。水の流れに足を取られながらも、全員で60キを目標に作業に励んだ。

金野夕妃さんは「作業は楽しい。ずっしりと重さを感じるとうれい」、鈴木晴稀君は「こんなに採れるとは思わなかった。製鉄するのが楽しみ」とほほ笑んだ。



砂鉄は会員らが不純物を取り除いた後、9月上旬に昔ながらのたたら炉で製鉄する。

採取した砂鉄に喜ぶ子どもたち